



2022年3月期 第1四半期決算短信(米国基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安原 弘展

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 廣岡 勝也

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	42,305	48.2	1,938		1,110		472	
2021年3月期第1四半期	28,551	39.7	4,472		2,918		3,195	

(注) 四半期包括利益 2022年3月期第1四半期 1,897百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 4,729百万円 (%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	7.56	7.53
2021年3月期第1四半期	51.20	51.20

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	301,255	219,248	216,174	71.8	3,462.71
2021年3月期	322,761	218,616	215,612	66.8	3,454.18

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		20.00		20.00	40.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		20.00		30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	184,000	20.9	6,000		7,900	26.8	5,500	21.7	88.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	65,589,042 株	2021年3月期	65,589,042 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,159,967 株	2021年3月期	3,168,353 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	62,424,862 株	2021年3月期1Q	62,402,618 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 9
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(6) 販売の状況	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

① 当第1四半期の業績

(単位：百万円)

	2021年3月期 第1四半期 連結累計期間	2022年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	28,551	42,305	+13,754	+48.2%
売上原価	13,271	17,594	+4,323	+32.6%
売上利益	15,280	24,711	+9,431	+61.7%
販売費及び一般管理費	19,752	22,773	+3,021	+15.3%
営業利益 (△損失)	△4,472	1,938	+6,410	—
その他の収益・費用	730	886	+156	+21.4%
A:有価証券・投資評価損益 (純額)	824	△1,714	△2,538	—
税引前四半期純利益 (△損失)	△2,918	1,110	+4,028	—
当社株主に帰属する四半期純利益 (△損失)	△3,195	472	+3,667	—
参考情報: Aを考慮しない税引前四半期純利益 (△損失)	△3,742	2,824	+6,566	—

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～6月30日)における当社グループの経営環境は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響により、引き続き厳しい状況となりました。米国は、ワクチン接種の普及や経済政策により好調に推移したものの、国内においては、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などによって、都市部を中心に需要が落ち込みました。また、感染力の高い当該ウイルスの変異株のまん延により、先行きは依然不透明な状況にあります。

このような環境下、当社では、引き続き、お客さま・従業員・お取引先の健康と安全の確保を最優先に事業活動を行いつつ、高収益の経営体質の構築に向けた構造改革に取り組んでいます。また、感染症の拡大をきっかけに大きく変化した消費者の生活様式に対応する商品・サービスの開発・提供を継続的に行うとともに、「オンラインとオフラインの融合」、「顧客データの活用」など顧客体験の向上に向けた独自のCX戦略を推進することで、お客さま一人ひとりの「深く、広く、長い」関係性を構築する取り組みを進めています。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、423.1億円(前年同期比48.2%増)、営業利益は、19.4億円(前年同期は営業損失44.7億円)、税引前四半期純利益は、11.1億円(前年同期は税引前四半期純損失29.2億円)、当社株主に帰属する四半期純利益は、4.7億円(前年同期は当社株主に帰属する四半期純損失32.0億円)となり、大幅な増収・増益となりました。有価証券・投資評価損益(純額)については、評価損17.1億円を計上しています。(当社は米国会計基準を採用しており、当社及び連結子会社が保有する持分証券につきましては、公正価値で評価し、期初からの変動を「有価証券・投資評価損益(純額)」として「その他の収益・費用」で計上しています。)

なお、感染症の影響を受けていない2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、連結売上高は10.6%の減収、営業利益は46.8%の増益、税引前四半期純利益は27.0%の減益、当社株主に帰属する四半期純利益は60.4%の減益となっています。

当該期間の為替換算レートは、1米ドル=109.49円(前年同期107.62円)、1英ポンド=153.20円(同133.52円)、1中国元=16.36円(同15.60円)です。

②オペレーティング・セグメントの営業概況

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
売上高合計	28,551	100.0%	42,305	100.0%	+13,754	+48.2%
ワコール事業(国内)	15,529	54.4%	20,665	48.8%	+5,136	+33.1%
ワコール事業(海外)	7,742	27.1%	16,085	38.0%	+8,343	+107.8%
ピーチ・ジョン事業	2,643	9.3%	2,950	7.0%	+307	+11.6%
その他	2,637	9.2%	2,605	6.2%	△32	△1.2%

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
営業利益(△損失)	△4,472	—	1,938	4.6%	+6,410	—
ワコール事業(国内)	△3,049	—	△360	—	+2,689	—
ワコール事業(海外)	△1,004	—	2,058	12.8%	+3,062	—
ピーチ・ジョン事業	218	8.2%	505	17.1%	+287	+131.7%
その他	△637	—	△265	—	+372	—

(参考) 主要子会社の売上高・営業利益(△損失)

(単位：百万円)

売上高	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	13,603	47.6%	18,128	42.9%	+4,525	+33.3%
ワコールインターナショナル(米国)	3,404	11.9%	7,435	17.6%	+4,031	+118.4%
ワコールヨーロッパ	1,668	5.8%	4,037	9.5%	+2,369	+142.0%
中国ワコール	1,733	6.1%	3,325	7.9%	+1,592	+91.9%
ピーチ・ジョン	2,643	9.3%	2,950	7.0%	+307	+11.6%
ルシアン	996	3.5%	918	2.2%	△78	△7.8%
七彩	1,235	4.3%	1,184	2.8%	△51	△4.1%

※外部売上高のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益(△損失)	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	△2,543	—	△488	—	+2,055	—
ワコールインターナショナル(米国)	△837	—	1,099	14.8%	+1,936	—
ワコールヨーロッパ	△224	—	566	14.0%	+790	—
中国ワコール	117	6.8%	304	9.1%	+187	+159.8%
ピーチ・ジョン	218	8.2%	505	17.1%	+287	+131.7%
ルシアン	△103	—	△27	—	+76	—
七彩	△181	—	△119	—	+62	—

※主要子会社の売上高・営業利益(△損失)は各国会計基準に基づく数値

a. ワコール事業（国内）

当該セグメントの売上高は206.7億円（前年同期比33.1%増）、営業損益は3.6億円の営業損失（前年同期は30.5億円の営業損失）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は22.3%の減収、営業損益は23.2億円の減益となっています。

【ワコール】

ワコール事業（国内）の中核事業会社であるワコールの売上高は、前年同期に比べ33.3%の増収となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は28.8%の減収となっています。

当第1四半期連結累計期間においても緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などにより店舗休業や営業時間の短縮を実施しましたが、休業などの対象地域が一部の都道府県に限定されるなど営業環境が前年同期より改善した結果、大幅な増収となりました。しかしながら、外出を控える動きはなお強く、来店客数の減少による都市部店舗の低迷が続いていることから、未だ感染症流行前の水準には戻っていません。

巣ごもり需要の寄与もあり前年同期に大きく伸長した自社EC「ワコールウェブストア」については、引き続き集客に努めましたが、新規顧客の獲得に苦戦した結果、減収となりました。「ワコール」「ウイング」両ブランドのインナーウェアについては堅調に推移したものの、前年同期に大きく伸長した「アンフィ」ブランドやナイトウェアなどが低迷しました。

営業損益は、4.9億円の営業損失（前年同期は営業損失25.4億円）となりました。増収効果に加え、高収益な経営体質の構築に向けた収益構造改革の一環として、経費削減などに努めた結果、赤字幅は大幅に縮小しました。

b. ワコール事業（海外）

邦貨換算後の当該セグメントの売上高は160.9億円（前年同期比107.8%増）、営業利益は20.6億円（前年同期は10.0億円の営業損失）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は20.1%の増収、営業利益は9.6%の増益となり、感染症流行前の水準にまで回復しています。

なお、前年同期において「ワコール事業（海外）」セグメント内で計上していた「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高については、「ピーチ・ジョン事業」セグメントでの計上に変更し、前年同期実績についても遡及修正しています。

また、中国ワコールにおける百貨店等の売上について、当期より総額表示（店頭価格ベース）に変更していますが、遡及修正していません。なお、当該変更により、売上高、販売費及び一般管理費がそれぞれ同額増加するため、営業利益に影響はありません。

【ワコールインターナショナル（米国）】

ワコールインターナショナル（米国）の現地通貨ベースの売上高は、感染症対策の緩和や政府による給付金支給による個人消費の伸びを背景に、米国ワコール、Intimates Online, Inc.（以下、IO社）ともに好調に推移したことから、前年同期に比べ114.7%の増収（邦貨換算ベース118.4%増）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は48.1%の増収（邦貨換算ベース47.5%増）となっています。

「Wacoal」や「b. tempt' d」などのブランドを展開する米国ワコールは、ECの高い成長に加え、実店舗の回復も寄与し、前年同期に比べ130.7%の増収となりました。また、「LIVELY」ブランドを展開するIO社も、リピート客の増加によってECの成長が続いたほか、米国大手小売業者ターゲット（Target corporation）への納品も売上拡大に寄与し、72.5%の増収となりました。

現地通貨ベースの営業利益は、自社ECに関連した成長投資が増加したものの、増収効果に加え、売上利益率の改善も寄与したことから、10.0百万ドル（邦貨換算ベース11.0億円）の営業黒字となりました（前年同期は営業損失7.8百万ドル（邦貨換算ベース8.4億円））。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、営業利益は27.2%の増益（邦貨換算ベース26.6%増）となっています。

【ワコールヨーロッパ】

ワコールヨーロッパの現地通貨ベースの売上高は、感染症対策の緩和後、地域差はあるものの、概ね回復基調で推移したことから、前年同期に比べ110.9%の増収（邦貨換算ベース142.0%増）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は5.8%の増収（邦貨換算ベース14.8%増）となっています。

なお、欧州、北米における売上高は感染症流行前の水準に達していますが、英国については主力得意先の閉店などが響き、未だその水準には至っていません。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果により3.7百万ポンド（邦貨換算ベース5.7億円）の営業黒字となりました（前年同期は営業損失1.7百万ポンド（邦貨換算ベース2.2億円））。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、営業利益は54.5%の増益（邦貨換算ベース67.5%増）となっています。

【中国ワコール】

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ82.9%の増収（邦貨換算ベース91.9%増）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は6.7%の増収（邦貨換算ベース6.8%増）となっています（当第1四半期連結累計期間における百貨店等の売上の総額表示（店頭価格ベース）への変更影響を控除したベースでは減収）。前年同期の感染症拡大による売上低迷の反動から、百貨店などの店舗を中心に「WACOAL」や「Salute」ブランドの売上が回復し、大幅な増収となりました。他方、EC売上については、競争環境の激化を受けて、苦戦しました。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果により、149.2%の増益（邦貨換算ベース159.8%増）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、営業利益は29.5%の減益（邦貨換算ベース29.1%減）となっています。

c. ピーチ・ジョン事業

当該セグメントの売上高は、29.5億円（前年同期比11.6%増）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は5.6%の増収となっています。前年同期の巣ごもり需要拡大の反動から自社ECは減収となりましたが、直営店は感染症拡大による店舗休業の反動により90.5%の増収となり、トータルでは前年同期を上回りました。引き続き、消費者のニーズを捉えた主力商品が好調に推移しているほか、話題性の高いプロモーション施策の実施が来店客数の増加や自社ECサイトの購買率の維持に繋がっています。

営業利益は、増収効果に加え、販促費の抑制により、5.1億円（前年同期比131.7%増）となりました。

d. その他

当該セグメントの売上高は、26.1億円（前年同期比1.2%減）、営業損益は2.7億円の営業損失（前年同期は6.4億円の営業損失）となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は42.7%の減収となり、苦戦が続いています。

【ルシアン】

ルシアンの売上高は、感染症拡大の長期化に伴う得意先の仕入枠の抑制などにより、量販店や大手アパレル向けのプライベートブランド商品の売上が低調に推移した結果、前年同期に比べ7.8%の減収となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は30.9%の減収となっています。営業損益は減収の影響により0.3億円の営業損失（前年同期は1.0億円の営業損失）となりましたが、経費削減に努めた結果、赤字幅は縮小しました。

【七彩】

七彩の売上高は、感染症拡大の長期化に伴う新規出店や各種イベントの中止・延期による工事事業の低迷が影響し、前年同期に比べ4.1%の減収となりました。2020年3月期第1四半期連結累計期間との比較では、売上高は40.0%の減収となっています。営業損益は、オペレーションの見直しによる経費削減を進めたものの、売上低迷が響き、1.2億円の営業損失（前年同期は1.8億円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、借入金の返済のため現金及び現金同等物が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して215億6百万円減少し、3,012億55百万円となりました。

負債の部も、同様の理由で短期借入金を返済したことなどにより、前連結会計年度末に比して221億38百万円減少し、820億7百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定の変動などにより、前連結会計年度末に比して5億62百万円増加し、2,161億74百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して5.0ポイント増加し、71.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して242億53百万円減少し、393億4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益4億97百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、5億40百万円の支出（前年同期に比し92億25百万円の支出減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得などにより、13億20百万円の支出（前年同期に比し3億22百万円の支出減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済、配当金支払や条件付取得対価の支払などにより、225億51百万円の支出（前年同期は323億21百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2021年5月14日に公表した連結業績予想から変更ありません。また、持分証券の評価損益による変動影響は、連結業績予想に織り込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	63,557	39,304	△ 24,253
定期預金	1,443	1,358	△ 85
有価証券	253	254	1
売掛債権	17,571	19,345	1,774
貸倒引当金	△ 346	△ 266	80
たな卸資産	43,250	44,602	1,352
返品資産	600	586	△ 14
その他の流動資産	7,794	8,735	941
流動資産合計	134,122	113,918	△ 20,204
II. 有形固定資産			
土地	20,569	20,579	10
建物及び構築物	72,978	73,267	289
機械装置及び工具器具備品等	19,356	19,614	258
建設仮勘定	1,264	1,942	678
	114,167	115,402	1,235
減価償却累計額	△ 64,409	△ 65,338	△ 929
有形固定資産合計	49,758	50,064	306
III. その他の資産			
オペレーティングリース 使用権資産	12,729	12,077	△ 652
関連会社投資	21,207	21,833	626
投資	51,603	49,690	△ 1,913
のれん	21,169	21,212	43
その他の無形固定資産	15,220	15,192	△ 28
前払年金費用	9,533	9,750	217
繰延税金資産	1,649	1,740	91
その他	5,771	5,779	8
その他の資産合計	138,881	137,273	△ 1,608
資産合計	322,761	301,255	△ 21,506

科 目	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減金額
	(2021年3月31日)	(2021年6月30日)	
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	40,672	20,677	△ 19,995
買掛債務			
支払手形	712	983	271
買掛金	8,734	8,932	198
未払金	6,610	4,155	△ 2,455
	16,056	14,070	△ 1,986
未払給料及び賞与	6,822	5,633	△ 1,189
未払税金	1,025	1,082	57
返金負債	2,266	2,002	△ 264
短期オペレーティング リース負債	4,411	4,141	△ 270
条件付取得対価に係る負債 (短期)	—	885	885
その他の流動負債	4,819	6,734	1,915
流動負債合計	76,071	55,224	△ 20,847
II. 固定負債			
長期債務	1,498	1,496	△ 2
退職給付に係る負債	1,942	1,949	7
繰延税金負債	12,292	12,264	△ 28
長期オペレーティング リース負債	8,520	8,146	△ 374
条件付取得対価に係る負債 (長期)	1,639	736	△ 903
その他の固定負債	2,183	2,192	9
固定負債合計	28,074	26,783	△ 1,291
負債合計	104,145	82,007	△ 22,138
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,120	29,109	△ 11
III. 利益剰余金	181,346	180,567	△ 779
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	1,770	3,086	1,316
年金債務調整勘定	△ 1,008	△ 996	12
V. 自己株式	△ 8,876	△ 8,852	24
株主資本合計	215,612	216,174	562
VI. 非支配持分	3,004	3,074	70
資本合計	218,616	219,248	632
負債及び資本合計	322,761	301,255	△ 21,506

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	28,551	100.0	42,305	100.0	13,754
II. 営業費用					
売上原価	13,271	46.5	17,594	41.6	4,323
販売費及び一般管理費	19,752	69.2	22,773	53.8	3,021
営業費用合計	33,023	115.7	40,367	95.4	7,344
営業利益(△損失)	△ 4,472	△ 15.7	1,938	4.6	6,410
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	17		10		△ 7
支払利息	△ 12		△ 22		△ 10
受取配当金	651		593		△ 58
有価証券・投資評価損益(純額)	824		△ 1,714		△ 2,538
その他の損益(純額)	74		305		231
その他の収益・費用合計	1,554	5.5	△ 828	△ 2.0	△ 2,382
税引前四半期純利益(△損失)	△ 2,918	△ 10.2	1,110	2.6	4,028
法人税等	619	2.2	691	1.6	72
持分法による投資損益調整前 四半期純利益(△損失)	△ 3,537	△ 12.4	419	1.0	3,956
持分法による投資損益	283	1.0	78	0.2	△ 205
四半期純利益(△損失)	△ 3,254	△ 11.4	497	1.2	3,751
非支配持分帰属損益	59	0.2	△ 25	△ 0.1	△ 84
当社株主に帰属する四半期純利益 (△損失)	△ 3,195	△ 11.2	472	1.1	3,667

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益(△損失)	△ 3,254		497		3,751
II. その他の包括損益 －税効果調整後					
為替換算調整勘定	△ 1,634		1,388		3,022
年金債務調整勘定	159		12		△ 147
その他の包括損益 合計	△ 1,475		1,400		2,875
四半期包括損益	△ 4,729		1,897		6,626
非支配持分帰属四半期包括損益	227		△ 97		△ 324
当社株主に帰属する四半期包括損益	△ 4,502		1,800		6,302

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(株)フコールホールディングス(3591) 2022年3月期 第1四半期決算短信

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)	(自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益(△損失)	△ 3,254	497
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,481	1,504
(2)貸倒引当金(純額)	17	△ 74
(3)繰延税金	△ 895	△ 169
(4)固定資産除売却損益(純額)	25	△ 141
(5)有価証券・投資評価損益(純額)	△ 824	1,714
(6)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	244	41
(7)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少(△増加)	3,266	△ 1,678
たな卸資産の増加	△ 2,055	△ 1,070
返品資産の減少	417	14
その他の流動資産等の増加	△ 2,626	△ 1,053
買掛債務の減少	△ 3,780	△ 502
返金負債の減少	△ 819	△ 264
退職給付に係る負債の増加(△減少)	50	△ 203
その他の負債等の増加(△減少)	△ 968	725
(8)その他	△ 44	119
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,765	△ 540
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 87	△ 45
2. 定期預金の減少額	122	152
3. 持分証券の売却及び償還収入	3	198
4. 持分証券の取得	△ 3	△ 1
5. 負債証券の償還収入	108	—
6. 有形固定資産の売却収入	0	240
7. 有形固定資産の取得	△ 711	△ 1,067
8. 無形固定資産の取得	△ 772	△ 821
9. 貸付による支出	△ 315	—
10. その他	13	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,642	△ 1,320
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	14,261	—
2. 短期借入金(3ヶ月超)の調達	20,430	—
3. 短期借入金(3ヶ月超)の返済	—	△ 20,000
4. 長期債務の調達	1,184	—
5. 長期債務の返済	△ 13	△ 12
6. 自己株式の取得	△ 0	△ 0
7. 当社株主への配当金支払額	△ 1,248	△ 1,248
8. 非支配持分への配当金支払額	△ 15	△ 82
9. 非支配持分からの払込みによる収入	—	55
10. 非支配持分からの子会社持分取得による支出	△ 1,190	—
11. 条件付取得対価の支払	△ 1,088	△ 1,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,321	△ 22,551
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 93	158
V. 現金及び現金同等物の増減額	20,821	△ 24,253
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	27,905	63,557
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	48,726	39,304
補足情報		
現金支払額		
利息	5	22
法人税等	6,366	639
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	455	410

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	15,529	7,742	2,643	2,637	28,551	—	28,551
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	142	2,393	62	791	3,388	△ 3,388	—
計	15,671	10,135	2,705	3,428	31,939	△ 3,388	28,551
営業利益(△損失)	△ 3,049	△ 1,004	218	△ 637	△ 4,472	—	△ 4,472

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	20,665	16,085	2,950	2,605	42,305	—	42,305
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	202	2,543	79	915	3,739	△ 3,739	—
計	20,867	18,628	3,029	3,520	46,044	△ 3,739	42,305
営業利益(△損失)	△ 360	2,058	505	△ 265	1,938	—	1,938

(注) 1. 各事業の主な製品

ワコール事業(国内) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他

ワコール事業(海外) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品他

ピーチ・ジョン事業 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他

その他 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品、マキシン人形、店舗設計・施工他

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、量的基準の判定を行った結果、「その他」セグメントに含めた「ピーチ・ジョン事業」が基準を満たしたため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、従来「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高の一部を「ワコール事業(海外)」セグメントに含めておりましたが、前連結会計年度より「ピーチ・ジョン事業」セグメントへ含めて開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	20,479	3,277	4,795	28,551
構成比	71.7%	11.5%	16.8%	100.0%
営業損失(△)	△ 3,347	△ 89	△ 1,036	△ 4,472

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	25,811	5,205	11,289	42,305
構成比	61.0%	12.3%	26.7%	100.0%
営業利益(△損失)	△ 119	428	1,629	1,938

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: アジア諸国及びオーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
		自2020年4月1日 至2020年6月30日		自2021年4月1日 至2021年6月30日			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	22,099	77.4	34,510	81.6	12,411	56.2
	ナイトウェア	1,471	5.1	1,578	3.7	107	7.3
	リトルインナー	129	0.5	196	0.5	67	51.9
	計	23,699	83.0	36,284	85.8	12,585	53.1
アウターウェア ・スポーツウェア等		1,842	6.5	2,910	6.9	1,068	58.0
レッグニット		183	0.6	239	0.5	56	30.6
その他繊維製品 及び関連製品		1,365	4.8	1,347	3.2	△18	△1.3
その他		1,462	5.1	1,525	3.6	63	4.3
合計		28,551	100.0	42,305	100.0	13,754	48.2